

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援・放課後等デイサービス ともともびじょん				公表日	令和8年3月13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		人数や活動内容に応じてスペースを広げたり、1階を利用したり、環境整備を行っている	今後も活動状況に応じた空間の使い分けや環境設定について継続して検討して行く	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	10		こどもの状態に対応できるように職員配置をしている	子どもの特性やその日の状態により支援の必要度が変わるため、状況に応じた柔軟な職員配置や役割分担について引き続き検討して行く	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		刺激量を調節し、落ち着ける空間も用意している。視覚的に分かりやすくしている	子供ひとりひとりの特性や発達段階に応じてより分かりやすい環境設定や視覚的支援について継続して工夫していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		清潔で過ごしやすい空間を作り、子どもたちのことを考えた空間を作るようにしている	子供が安心して活動できる環境を維持するため、環境整備や安全面への配慮について定期的に見直しを行ないより過ごしやすい空間づくりを継続していく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個別のトレーニングルームがあります。集団で過ごすのがしんどい時、クールダウンが必要な時は認めています	個別対応が必要な場面が重なる場合もあるため、子どもの状態に応じたスペースの確保や環境調整について引き続き検討して行く	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		広く職員が意見を出し合える雰囲気づくりに努めている。日々の小さな気付きを共有し、改善につなげる体制を整えている	日々の振り返りや情報共有をさらに充実させ職員間での共通理解を深めながらより効果的な支援につなげていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		評価表で頂いた意見は職員会議で共有し、改善可能な内容については早期に反映している	保護者から寄せられる意見や感想を丁寧に受け止め必要に応じて事業所の取り組みに反映できるよう引き続き体制を整えていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		会議の場であったり、療育開始前に話す時間を多くとり、小さな気付きも拾えるようにしている	職員一人ひとりの気付きや提案を活かせるよう、意見交換の機会を確保しながら業務改善に繋げていく取り組みを継続する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3	専門家や関係機関からの助言を聞き入れる形で第三者視点を活用している	専門職や関係機関からの助言を参考にしながら、客観的な視点を取り入れた支援の見直しを進めていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		外部研修及び事業所内研修の両面で学びの場を確保している	外部研修で得た内容を職員間で共有する仕組みをより明確にする	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		児童のアセスメントに基づく支援プログラムを作成し共有できる形で公表している	現在の支援プログラムの周知を継続し分かりやすい説明を心がけていく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		保護者には、言葉だけでなく資料等を用いて説明し、理解と同意を頂いた上で計画に反映している	アセスメントをもとにした支援計画作成を引き続き丁寧に行う	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		日々の記録を個人ファイルに記録し、計画と実践がつながるようにしている	子どもの状況を踏まえた計画作成を継続して行く	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		計画を確認しながら支援できるように、支援ファイルの中に添えています	常に、目標(支援内容)に注意して支援を統一できるように継続していく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		検査を受けている場合は、結果を頂いて支援を検討し、日々の行動の変化や、トレーニングの内容を記録している	日々の観察や記録を支援内容の検討に生かしていく	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		必要な項目が適切に設定されて具体的な支援内容につながっている	支援計画と実践の連動をさらに明確にし、専門性の高い支援が継続できることを目指す	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		指導員全員でプログラムを検討している	活動プログラムについて職員間で検討しながら内容の充実を図る	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	継続して行うべきプログラムもあるが、内容の振り返りを通じて活動の進め方を工夫している	引き続き、子供の興味や様子に合わせ、活動内容を工夫しながら支援を行っていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	個別で取り組むべき課題、小集団活動で育てたい力を明確に分けて記載し、子どもの状態に応じて支援を進めている	気づいたこと等、支援ファイルに記録できるようにする(変化に気付くことができる)
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	活動プログラムの意図や子どもの状態を共有することで、支援中に迷いが出ないように、見通しを持って支援を進めることを意識している	担当を固定化せず、日々交代しているので支援の方向性を統一して支援を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	日々、子どもの様子を共有し、次回からの支援を検討している	職員全員が関わることにより、日々の記録だけでなく週・月単位での支援の変化を確認できるように工夫する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	一人ひとりの個人ファイルを作成し、日々の支援内容や様子を記録することを徹底している。その記録をもとに振り返りを行ない支援の検証・改善につなげている	日々の記録を支援の改善につなげられるよう引き続き取り組む
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	定期的に行い保護者、相談支援員と情報交換を行ない、計画の見直しに対応している	引き続き、定期的なモニタリングを行ない、子どもの成長や状況の変化に応じて支援計画の見直しを行っていく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	児発管だけでなく、その子どもの状況をよく理解している指導員も参加できるよう調整している。参加が難しい場合には資料を事前に作成し共有できるようにしている	関係機関との連携を大切にしながら情報共有を行ない、子どもにとってより良い支援につなげていく
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	連携体制については保護者にも説明し、関係機関との連携が可能であることを伝えた上で支援につなげられるよう配慮している	地域の保健・医療・福祉等の関係機関との連携を意識しながら、必要に応じて支援に生かして行く
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	就園・就学を見据えた支援を行ない、インクルージョンの推進を意識した体制を整えている	インクルージョンの視点を大切にし、子どもが地域の中で安心して生活できるよう支援を行っていく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	保護者とも連携しながら就学前の不安や、就学後の見通しを一緒に整理し、支援がつながる形での移行を目指している	就学に向けて関係機関や保護者と連携しながら情報共有を行い、スムーズな移行につなげていく
	28	(28~30は、センターのみ回答)	10		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	10		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10		
	31	(31は、事業所のみ回答)	10		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	言語面やコミュニケーション面について課題のある児童に対しては言語聴覚士(ST)による訪問や助言を受ける機会を設け、支援方法の見直しやアセスメントの参考としている	必要に応じて専門職と連携しながら子どもにとってよりよい支援を行っていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	長期休みの期間を中心に、一緒に活動できる場を設けるように工夫している	地域の子どもと交流機会について子どもの状況に応じながら今後も検討して行く
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	保護者の方が送迎してくださっているので、その際にお話し共有している	引き続き、保護者との情報共有を大切にしながら、信頼関係の構築に努めていく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	定期的に家族会や学習会を開催し情報共有・提供・交流の場を設けている希望に応じてペアレントトレーニング等も行い、家庭での関わり方の支援につなげている	保護者支援の機会を大切にしながら家庭との連携を深めていく	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	利用者負担等については契約時に丁寧な説明を心がけているが、今後はマーカーなどを用いて視覚的に理解しやすい形で伝えられるように工夫して行きたいと考えている	説明不足を防ぐために、重要点に印をするなどの工夫をして行く	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	日々の面談と、さらにアセスメントをとり確認を行っている	子どもや保護者の意向を確認しながら、支援計画の作成を行っていく	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		内容を理解しやすいように計画書を見ながら説明し、必要に応じて質問の時間の機会も設けている	支援計画について丁寧な説明を行い、保護者の理解を得ながら支援を進めていく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		送迎時の会話を大切に、保護者が相談しやすい雰囲気や関係を作るようにしている	保護者からの相談について、安心して相談できるよう引き続き丁寧な対応を心がけていく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		保護者会や学習会のイベントを開催し、相談や情報交換の場を設けている	兄弟同士の交流の場はまだ設けていないので、今後検討して行く
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		相談の申し入れがあった場合、できるだけ早く対応できるように体制を整えている	相談や申し入れがあった際には、職員間で共有し適切に対応して行く
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		ラインや電話等を活用してお知らせしているSNSでも活動状況などをあげている	活動内容や取り込みについて、わかりやすい情報発信を行っていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報の保管はもちろんホームページや保護者に送る写真などにも注意している	個人情報の取り扱いについて、引き続き適切な管理を行っていく
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		ひとりひとりに配慮した対応を心がけている	子どもや保護者への配慮ある対応を心がけ、安心して利用できる環境づくりを行っていく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	地域の方との関係性を構築して行けるように努めている	今後は、地域の方と交流できる行事や活動を知っていただける機会の検討を進めていきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		マニュアルは策定し定期的に訓練を行っている	防災に対する意識を高めながら安全管理に配慮した上を行うとともに、保護者への周知方法についても検討して行く
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		計画を策定し定期的に訓練を行っている	非常時に備えた避難訓練等を継続して実施し安全意識の向上に努めていく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		アセスメントを通して健康面の情報を事前に確認し、チェックリスト形式で視覚化しており、職員が把握しやすいように整理している	子どもの健康状態について日々確認を行い、体調の変化に配慮した支援を行っていく
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		おやつを分けて、間違わないように収納場所を分け、分かりやすくしている	アレルギー対応について、引き続き職員間で情報共有を行ない適切に対応して行く
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画に基づき、必要な研修や訓練を行ない安全が確認された上で支援が行えるよう体制を整えている	安全管理に配慮しながら、安心して過ごせる環境づくりを継続して行く
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		契約時に説明しており、常にお子さんの状態を共有している	今後は取り組み内容について、保護者の方にも周知して頂ける体制を整えていく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		事業所内で速やかに共有し、原因の振り返りと再発防止策について検討し、記録に残した上で職員全員で確認できるように申し送りミーティングで共有している	引き続き、ヒヤリハット事例を職員間で共有し、事故防止につなげていく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		研修の機会を確保し適切に対応できる体制を整えている	職員研修等を通して知識や支援技術の向上に努めていく
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		定期的に研修を行い、身体拘束にあたる行動を把握している	必要な説明や確認を行ないながら、適切な対応を継続して行く	